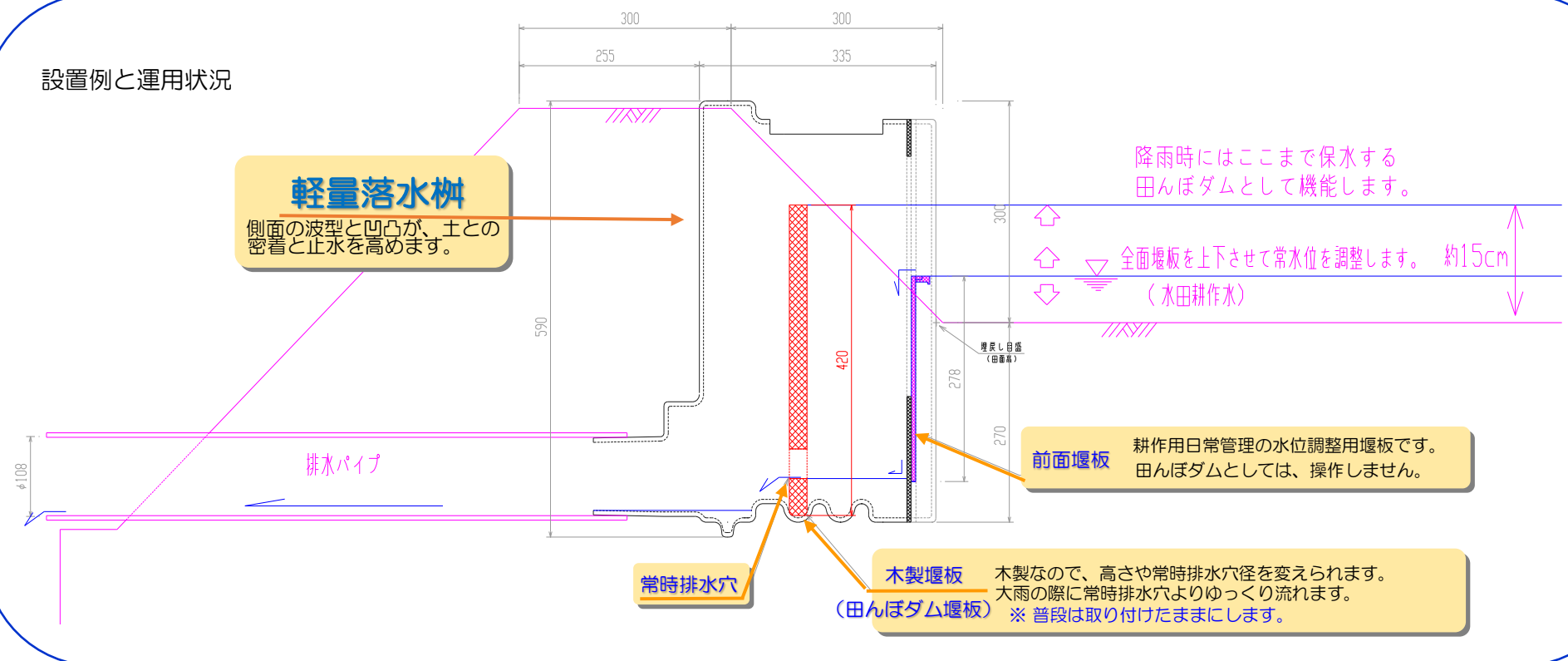


田んぼダム軽量落水柵の取付例【参考】

設置例と運用状況

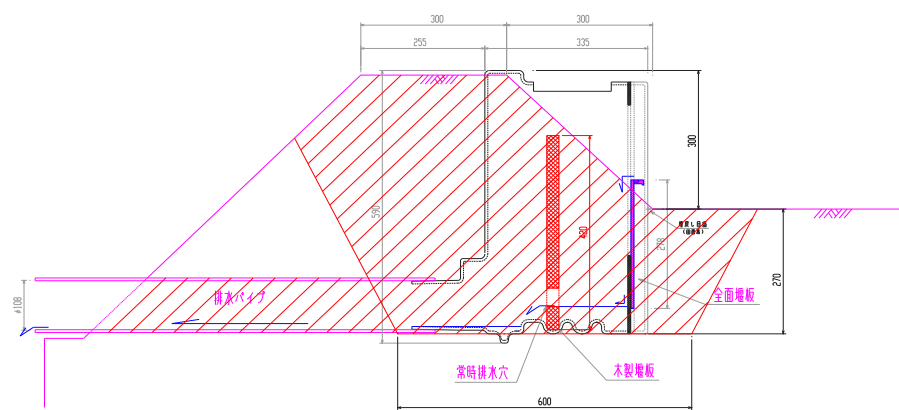


○ 落水柵の設置にあたって

事前に、設置位置の確認をして下さい。(埋設物の有無・畦畔の高さ・排水パイプの吐出し口の構造物の有無等)

① 位置決め後、人力床堀する

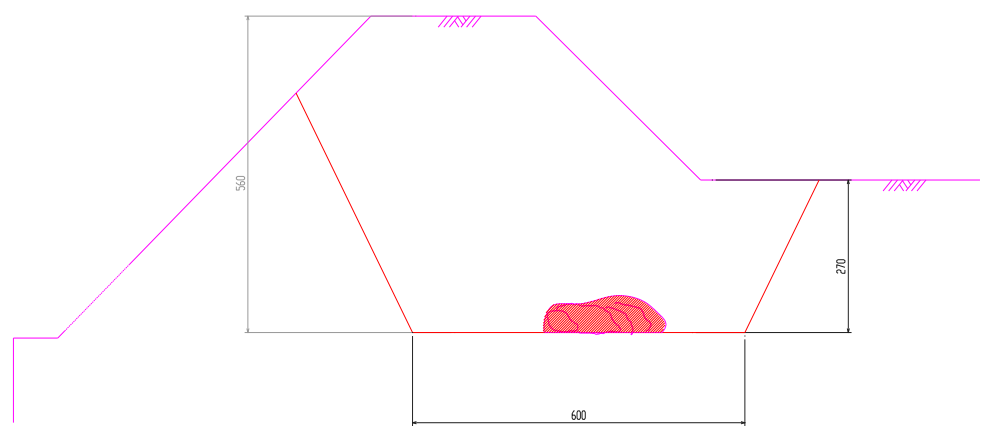
床の高さは、田面を基準として27cm掘り下げて下さい。



事前に畦畔のどの位置に設置するか決定して掘削をして下さい。排水パイプの管路も床堀して下さい。

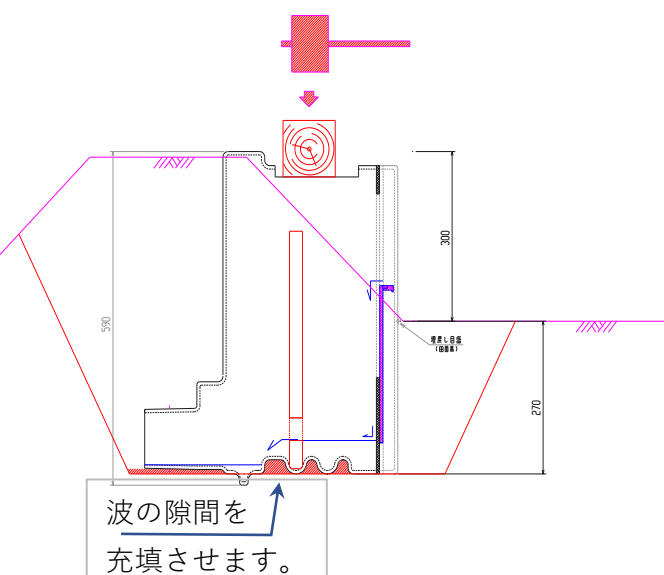
② 床堀底面にほぐした土を投入する

本体の底面の波型になじませる分の土を入れます。



③ 落水柵をセットして、位置を固定させる

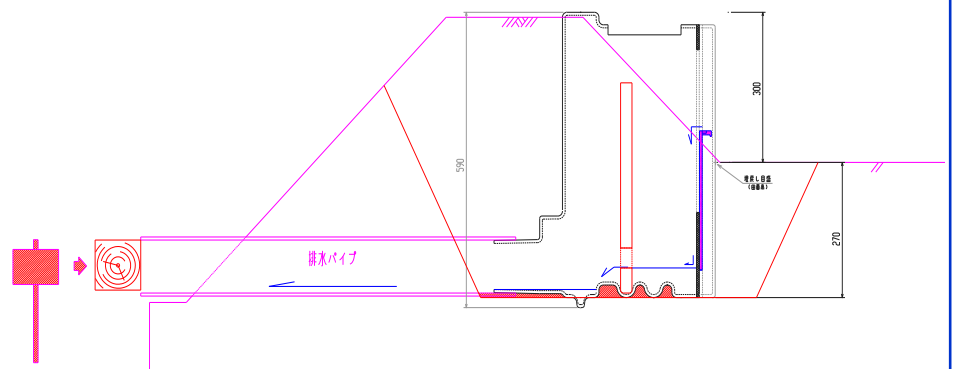
あて木の上をカケヤカセットハンマー等で軽く数回叩いてなじませます。



打撃を与える場合は、破損しないよう、必ずあて木の上を軽く叩いて下さい。

④ 排水パイプを設置して数度に分けて埋め戻す。

- 排水パイプをセットして、排水勾配を確認します。
- パイプ上部まで埋戻し、パイプ出口に打撃を与えパイプを押し込みます。
- 数回に分けて土を投入し、入念に締固めます。



※ 土は水分を含んでいますと、乾燥後にひび割れや空隙の原因になります。出来るだけ乾いた状態で作業するか、又は、乾いた後に締固めや土の補充を行って下さい。